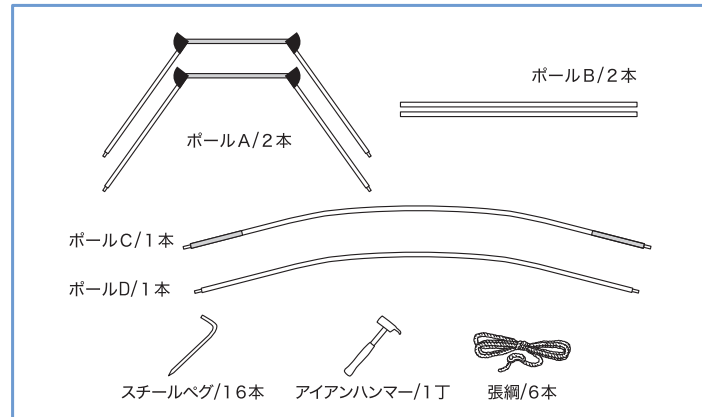


ポールヴェーラR / 組み立て方法

■ ポールはあらかじめ曲げ加工している部分とは別に、使用していくうちに緩やかに曲がりぐせがつくことがあります。これはポール素材の特性上の現象で、外部から力がかかるなどで極端に曲がってしまった場合や折れてしまった場合などを除き、使用上は差し支えありません。

1. パーツを確認します



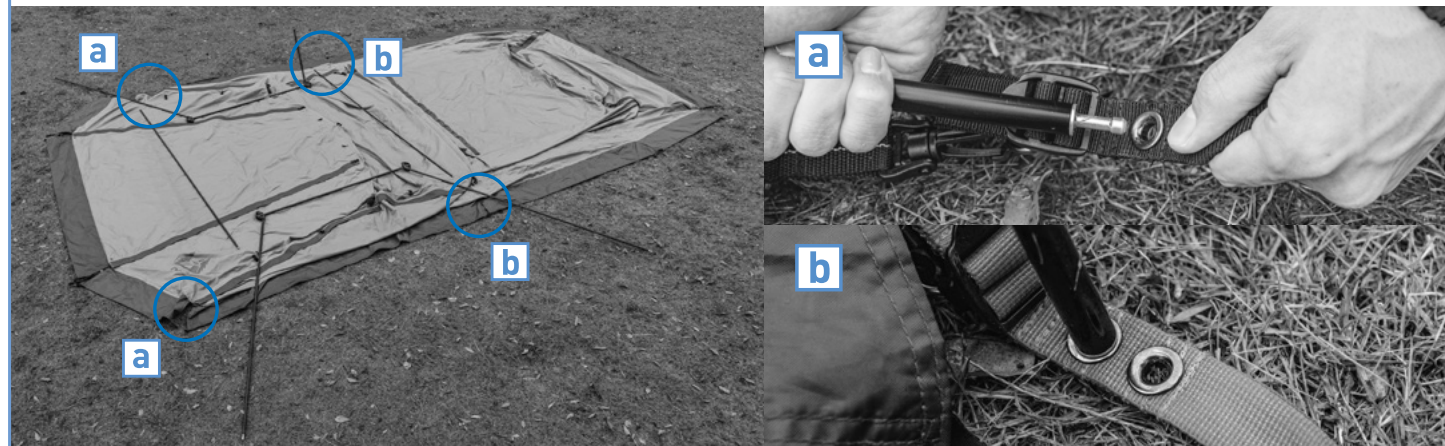
幕体本体と上記のパーツがセットされているか確認します。

⚠ 設営・撤収時のご注意

テントは完全に設営が完了した状態で強度設計されています。テントの破損は、設営時・撤収時に多く発生します。風が強く吹いている際は設営・撤収は見合わせ、風が収まってから作業を行ってください。

3. ポールAを接続します

ポールAを接続し、ポールの末端を幕体裾のテープのハトメ **a**・**b** に差し込んで固定します。ポールAの末端が、それぞれテントの側面の前後になるように配置し接続します。



4. ポールBをポールAに接続します

ポールAの両末端を持ち上げ、プラスチックジョイントの穴にポールBを差し込みます。はじめに片側を差し込んだ後、ポールを大きくしならせるように湾曲させてジョイントの穴に差し込みます。

⚠ 接続時のご注意

ポールの接続の際、プラスチックジョイントへのポールの差し込みが奥までしっかりと差し込まれていることを確認してください。



2. 幕体を広げます

出来るだけ平らな場所を選び、幕体を広げます。



5. 幕体を吊り下げます

接続したポールA、ポールBに幕体を吊り下げます。幕体のフックをすべてポールに引っ掛け、固定します。



6. ポールCをセットします

ポールCを中央のスリーブに通し、両方の末端をハトメに差し込みます。次に、幕体のフックをポールに引っ掛け固定します。



8. 裾を固定します

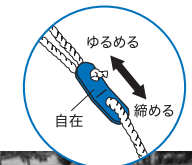
固定の際は、全てのファスナーを閉めた状態で行ってください。

- 1 ポールA・C・Dの裾6箇所をベグで固定します。
- 2 前面と後面の裾4箇所をベグで固定します。



10. フライシートをかぶせます

前後を確認し、**a**のリングフックを引っ掛け後ろへ向かってフライシートをかぶせます。全てのリングにフックを掛けて固定し、前側の自在付きフックで張りを調整します。



7. ポールDをセットします

ポールDを後面側のスリーブに通し、両方の末端をハトメに差し込みます。次に、幕体のフックをポールに引っ掛け固定します。



9. テントを補強します

裾にあるラダーロックをすべて締め込み、幕体に張りを持たせます。次に幕体のループに張り網を取り付け、地面にベグダウンします。自在(○)を利用してテントの張り具合を調整します。テントの中心から外側に向かって引っ張るように固定するとテント全体をきれいにテンションがかかります。



11. 吊り下げ式のインナーテント

幕体内側のリングにフックで吊り下げ、裾をバックルで固定します。取り付けのまま設営・撤収ができ便利です。また、取り外してシェルターとして使用することもできます。

